

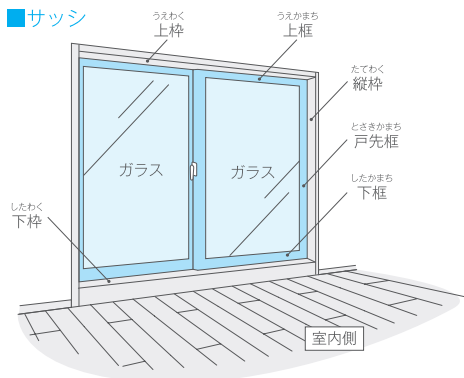
サッシのお手入れ

サッシ周りのちょっとした不具合には、調整方法がわかればご自分でも直せるものがあります。

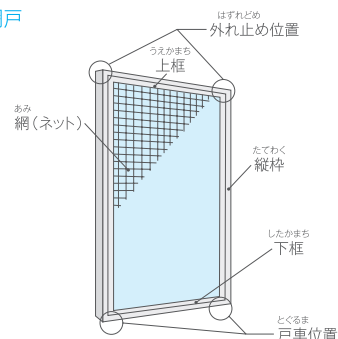
そこで、日常のサッシのお手入れに加え、

簡単な調整と誰でもできる補修などのメンテナンスをご紹介します。

■サッシ



■網戸



日常のお手入れ

お手入れの目安

サッシは、軽量で比較的腐食しにくいことからアルミ製のものが多いです。アルミは、お手入れも簡単ですが、長い間、砂・ホコリ・塩分などが付いたまま放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響で腐食する場合がありますので、サイクルを決めてお手入れするようにしましょう。

汚れが軽い場合のお手入れ法

水で濡らした雑巾で汚れをとり、その後乾拭きをします。

汚れがひどい場合のお手入れ法

- ①水で濡らした雑巾で全体を拭き、表面に付いたホコリや砂などを取り除きます。
- ②次に中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、その後洗剤が残らないようによく拭き取ります。
- ③最後に全体を乾拭きします。

注 意

お手入れには中性洗剤を使用してください。酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤はアルミサッシを腐食させたり、塗膜のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。洗剤を使う場合は、使用上の注意をよく読み、アルミサッシに影響がないことを確かめてご使用ください。

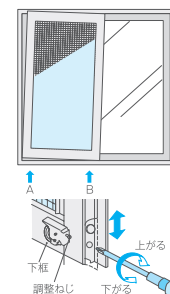
調整

網戸の調整

「網戸が少し傾いて、すきまが開いている」「開けにくくなった」等、補修会社を呼ぶほどのことではないけれど網戸の調子が悪いといった場合、簡単に調整する方法があります。また、掃除などで網戸を外す時も、外れ止めの機能を知っていれば簡単に外すことができます。

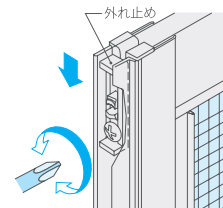
1. 戸車の調整

下の図のように網戸が傾いて網戸とサッシの縦枠との間にすきまが生じている場合、A側を下げたい場合はA側の戸車調整ねじを左へ回し、B側を上げたい場合はB側の戸車調整ねじを右に回し調整します。



2. 外れ止めの調整

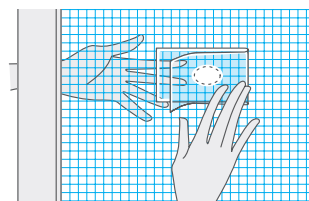
網戸には脱落防止のために上部に外れ止めが付いており、外れ止めを上げることで網戸は外れなくなります。掃除等のために外したい場合は、外れ止めをゆるめて下げてください。



補修

網戸の破れ

網戸が破れてしまったり、穴が開いてしまった時は、網戸用の補修テープを貼る方法があります。まず、網の汚れをとります。次に補修テープを同じ長さに2枚切り網の両面に貼ります。指でしっかり押さえて網目の中でくっつくように貼るのがコツです。補修テープより大きな穴にはシート状のものも市販されています。



ワンポイントアドバイス

サッシが開かない場合

経年変化により、サッシと枠がくっつき窓が開かない場合は図のようにサッシを手で軽く押すと開きやすくなります。また、サッシの上・下・縦枠部分の気密ゴムに、シリコン系滑走剤をスプレーするとサッシはくっつきにくくなります。また、ミシン油や油系の潤滑スプレーは埃を吸着し、故障につながります。使用しないでください。



FIX窓の結露排水弁

結露対策のために排水用の穴があり、豪雨時は雨水が侵入してくることがあります。豪雨時はタオルを置くなどの対策をお勧めします。

